



高齢者の安全運転技能の維持・向上を目指し、 国立長寿医療研究センターと研究を実施します

高齢ドライバーの運転能力の低下を要因とした交通事故は、社会的課題となっており、本市としても、高齢者の自動車運転における交通安全対策の充実が必要となっています。

現在、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター長の島田裕之氏を中心とする研究チームが運転寿命(安全に運転できる期間)の延伸に関する研究を行っています。

本市は、「健康都市おおぶ」の先駆的な取組として、運転寿命の延伸や、高齢者の安全運転技能の維持・向上による交通事故リスクを低減するため、独自のプログラムの実装に向けて国立長寿医療研究センターと研究を実施します。

■研究の具体的な提案内容(案)

- ・大府市内等を研究の実証フィールドとして、国立長寿医療研究センターが開発中の高齢者の安全運転技能の維持・向上を図るトレーニングを実施
- ・対象者/市内在住の高齢者(年齢等の要件については調整後、決定)
- ・トレーニング内容/自動車学校の実車トレーニングを基に構成

■研究に対する市の役割

- ・実証フィールドの提供
- ・プログラムの実装に向けての協力

【問い合わせ先】

大府市 健康都市推進課

担当 : 北川 美香 (キタガワ ミカ)

電話 : 0562-45-6226

FAX : 0562-47-7320

E-mail : kenkotoshi@city.obu.lg.jp